

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立岡山城東高等学校		
実践者等	中村 哲	実践日	令和4年10月28日
実践場面	保健（生涯を通じる健康）		
対象生徒（学年等）	普通科2年		
育成を目指す資質・能力	□知識・技能 ■思考力・判断力・表現力等 ■学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	□クラウドやアプリの活用 □デジタルデータの保存 □思考やデータの可視化	
		□データの共有や共同編集 ■対話を充実させる活用 ■思考を促す活用	
		■表現を充実させる活用 □課題のやり取りと評価の支援 □効率化や省力化	
		□その他（ ）	
	家庭学習	□振り返り □探究 □反転学習 □補習・定着	

【授業】

（1）ディスカッション

1年次で実践したディベートの流れを継承し、健康に関する課題を解決させるための主体的で対話的な学びをディスカッションして実践する。生徒の興味関心に応じた課題を2つの班同士で設定し、互いに調査研究した資料をiPadにまとめディスカッション（写真2）を行う。このときは建設的な意見交換をすることとする。これらの内容は最終発表（ポスターセッション）に向け考え方をまとめる材料とする。



①飲酒運転をなくすには（1班 VS 6班）10分

②育児放棄をなくすには（2班 VS 5班）10分

③薬物乱用をなくすには（3班 VS 4班）10分

（2）記録と振り返り

ディスカッション班（発表側）とオーディエンス（聞き手側）は発表後にGoogleFormsに、気づいたことや記録を入力して提出する。



・ディスカッション①～③入力時間4分×3（12分）

（3）本時の振り返りと次時の予告

本時のディスカッションに関する講評と次時の活動内容を伝える

【本時と家庭学習との連動】

特になし